

平成21年12月期 第3四半期決算短信

平成21年10月30日

上場取引所 東

上場会社名 セーラー万年筆株式会社
 コード番号 7992 URL <http://www.sailor.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 碓井 初秋
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役 管理部長 (氏名) 山崎 彰
 四半期報告書提出予定日 平成21年11月13日
 配当支払開始予定日 —

TEL 03-3846-2651

(百万円未満切捨て)

1. 平成21年12月期第3四半期の連結業績(平成21年1月1日～平成21年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
21年12月期第3四半期	4,699	—	△277	—	△301	—	△305	—
20年12月期第3四半期	6,252	△4.7	△218	—	△253	—	△147	—

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
21年12月期第3四半期	△6.85	—
20年12月期第3四半期	△3.31	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
21年12月期第3四半期	7,257	1,959	26.7	43.47
20年12月期	8,419	2,225	26.2	49.49

(参考) 自己資本 21年12月期第3四半期 1,938百万円 20年12月期 2,207百万円

2. 配当の状況

	1株当たり配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
20年12月期	—	0.00	—	0.00	0.00
21年12月期	—	0.00	—		
21年12月期(予想)				0.00	0.00

(注) 配当予想の当四半期における修正の有無 無

3. 平成21年12月期の連結業績予想(平成21年1月1日～平成21年12月31日)

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	7,000	△16.3	50	—	20	—	20	—	0.45

(注) 連結業績予想数値の当四半期における修正の有無 有

4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) 無
 新規 一社 (社名) 除外 一社 (社名)

(2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 有

(3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更(四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更)に記載されるもの

- ① 会計基準等の改正に伴う変更 有
 ② ①以外の変更 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	21年12月期第3四半期	44,710,587株	20年12月期	44,710,587株
② 期末自己株式数	21年12月期第3四半期	105,619株	20年12月期	93,943株
③ 期中平均株式数(四半期連結累計期間)	21年12月期第3四半期	44,610,669株	20年12月期第3四半期	44,627,363株

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

1.本資料に記載されている業績予想等に関する記述は現時点で入手可能な情報に基づき算出した予想であり、潜在的なリスクや不確実性が含まれているため、実際の業績は予想数値と異なる可能性があります。

なお、上記予想に関する事項は、3ページ[定性的情報・財務諸表等] 3.連結業績予想に関する定性的情報をご覧ください。

2.当連結会計年度より「四半期財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第12号)及び「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第14号)を適用しております。また、「四半期連結財務諸表規則」に従い四半期連結財務諸表を作成しております。

定性的情報・財務諸表等

1. 連結経営成績に関する定性的情報

当第3四半期連結累計期間（平成21年1月1日～平成21年9月30日）の概況

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、昨年来の世界的な不況の影響が持続し、底を脱しつつある状況とはいえ厳しさは持続しており、企業設備投資の停滞や個人消費の低迷が続きました。

このような状況のもと、当社グループの当第3四半期連結累計期間の売上高は46億9千9百万円（前年同期24.8%減）と大幅に減少しました。これに伴い、損益は営業損失2億7千7百万円、経常損失3億1百万円、四半期純損失3億5百万円となり、製造費用をはじめ販売管理費用等経費の徹底した削減に努めましたものの、売上高の減少による影響を吸収できませんでした。

事業の種類別セグメントの業績は次のとおりであります。

（ロボット機器部門）

国内外の企業の設備投資の停滞は底を脱しつつあり、受注も回復基調にはあるものの、未だ十分とは言えず、売上高は10億1百万円（前年同期比40.4%減）にとどまり、営業損失は1億6千8百万円となりました。

（文具部門）

個人消費の低迷及び法人需要の減少は引続いており、売上高は36億9千8百万円（前年同期比19%減）にとどまり、営業損失は1億8百万円となりました。

2. 連結財政状態に関する定性的情報

(1) 資産、負債及び純資産の状況

（資産の状況）

資産合計は、前連結会計年度末に比べて11億6千1百万円減少し、72億5千7百万円となりました。このうち流動資産は受取手形及び売掛金が減少したこと等により7億7千1百万円減少し、40億6千8百万円となりました。

また、固定資産は投資有価証券の売却及び保険積立金の解約等により3億9千万円減少し、31億8千9百万円となりました。

（負債の状況）

流動負債は、前連結会計年度末に比べて支払手形及び買掛金3億5千9百万円、短期借入金7千1百万円の減少があり、固定負債よりの移動分として1年内返済長期借入金2億円、1年内償還社債8千5百万円の増加等により、前期末より2億1千5百万円減少し、38億7千9百万円となりました。

固定負債は、社債3億5千5百万円、長期借入金3億2千4百万円の減少により、前期末より6億7千9百万円減少し、14億1千9百万円となりました。

（純資産の状況）

純資産は前連結会計年度末より2億6千6百万円減少し、19億5千9百万円となりました。また、資本金を33億8千1百万円、資本準備金5億円を減少し欠損填補を行ったため、資本金は20億円、資本剰余金は3億6千8百万円となりました。

(2) キャッシュ・フローの状況

営業活動によるキャッシュ・フロー資金の増加は6千6百万円となりました。主な要因は、売上債権の減少額6億1百万円、仕入債務の減少額3億5千7百万円です。

投資活動によるキャッシュ・フロー資金の増加は3億9百万円となりました。主な要因は、投資有価証券の売却による収入1億3千4百万円、役員退職金制度の廃止に伴う保険積立金の解約による収入2億5千4百万円です。

財務活動によるキャッシュ・フロー資金の減少は4億6千6百万円となりました。主な要因は、短期借入金の減少7千1百万円、長期借入金の減少1億2千4百万円、社債の償還2億7千万円です。

以上の結果、現金及び現金同等物の期末残高は9千4百万円減少して、5億8千4百万円となりました。

3. 連結業績予想に関する定性的情報

平成21年度の第4四半期以降を展望しますと、国外では一部地域での需要回復が伝えられており、国内でも一部の業績に回復基調が伝えられていますが、全般的には国内経済はまだ十分な回復状態には至らず、企業の設備投資や個人消費は底を脱して行く過程にあるものと思われま

す。このような経済環境のもと、当社グループのセグメントの見通しは以下のとおりであります。

(ロボット機器部門)

中国をはじめとする東南アジアを中心に引合案件は増加中であり、従来の標準機及び新型標準取出機RZーΣや携帯電話用のミニナット自動インサートシステムをはじめとした新製品の受注拡大を図っていき、今年度末の受注残高は5億円(前年度末残高2億5百万円)を予定しております。また、これまで実施してきた製造工程の見直し及び原材料費の削減による原価低減や販売管理費用の削減等を更に徹底して経費圧縮を努めてまいります。

(文具部門)

個人消費及び法人需要の低迷は引き続きものと考えられますが、現在問題となっている新型インフルエンザ対策をはじめとした生活環境の安全化に対応した全面光触媒文具「セラピカキレイ」を発売しており、本年度50万本の販売を予定しております。また万年筆ブームの再来に伴う新製品として吸入式万年筆「プロフィットレアロ」を発売しご好評を頂いております。遊技場業界向けには新型払出機を開発し、積極的に営業展開を行っております。経費削減策として、これまで実施してきた材料費を含む製造費用及び仕入商品価格の見直しや販売管理費用の削減等を更に徹底してまいります。

なお、当期の通期業績予想につきましては、平成21年7月30日に発表いたしました通期連結業績予想、個別業績予想から、平成21年10月30日公表の「通期業績予想の修正に関するお知らせ」に記載の通り修正を行っております。

4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

該当事項はありません。

(2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

① 固定資産の減価償却費の算定方法

定率法を採用している資産については、連結会計年度に係る減価償却費の額を期間按分して算定する方法によっております。

② たな卸資産の評価方法

たな卸資産の簿価切下げに関しては、収益性の低下が明らかなものについてのみ正味売却価額を見積り、簿価切下げを行う方法によっております。

(3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

「棚卸資産の評価に関する会計基準」の適用

通常の販売目的で保有するたな卸資産については、従来、主として総平均法による原価法によっておりましたが、第1四半期連結会計期間より「棚卸資産の評価に関する会計基準」(企業会計基準第9号)が適用されたことに伴い、主として総平均法による原価法(貸借対照表価額については収益性の低下に基づく簿価切下げの方法)により算定しております。

この結果従来の方法によった場合に比べて、当第3四半期連結累計期間の特別損失が6,380千円増加し、税金等調整前四半期純損失が同額増加しております。

5. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	当第3四半期連結会計期間末 (平成21年9月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成20年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	589,948	684,208
受取手形及び売掛金	1,534,806	2,139,218
たな卸資産	1,836,225	1,875,619
その他	124,080	158,364
貸倒引当金	△16,919	△18,089
流動資産合計	4,068,141	4,839,321
固定資産		
有形固定資産		
土地	1,452,363	1,452,363
その他(純額)	676,251	745,467
有形固定資産合計	2,128,615	2,197,831
無形固定資産		
	14,478	17,644
投資その他の資産		
投資有価証券	890,477	925,302
その他	471,758	751,630
貸倒引当金	△315,630	△312,613
投資その他の資産合計	1,046,605	1,364,320
固定資産合計	3,189,699	3,579,796
資産合計	7,257,840	8,419,117
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	948,000	1,307,543
短期借入金	2,060,900	2,132,000
1年内返済予定の長期借入金	333,200	133,200
1年内償還予定の社債	355,000	270,000
未払法人税等	19,702	27,169
賞与引当金	17,049	12,605
その他	145,754	212,801
流動負債合計	3,879,606	4,095,319
固定負債		
社債	—	355,000
長期借入金	33,600	358,500
退職給付引当金	895,105	894,950
繰延税金負債	43,176	42,498
再評価に係る繰延税金負債	447,293	447,293
固定負債合計	1,419,175	2,098,242
負債合計	5,298,782	6,193,562

(単位：千円)

	当第3四半期連結会計期間末 (平成21年9月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成20年12月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,000,000	5,381,449
資本剰余金	368,695	500,000
利益剰余金	△219,108	△3,426,141
自己株式	△19,060	△18,608
株主資本合計	2,130,526	2,436,699
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	123,689	86,277
土地再評価差額金	△309,014	△309,014
為替換算調整勘定	△6,300	△6,103
評価・換算差額等合計	△191,625	△228,839
少数株主持分	20,157	17,695
純資産合計	1,959,058	2,225,555
負債純資産合計	7,257,840	8,419,117

(2) 四半期連結損益計算書
(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	当第3四半期連結累計期間 (自平成21年1月1日 至平成21年9月30日)
売上高	4,699,778
売上原価	3,478,545
売上総利益	1,221,232
販売費及び一般管理費	1,498,337
営業損失(△)	△277,105
営業外収益	
受取利息	1,057
受取配当金	10,834
為替差益	12,579
持分法による投資利益	9,919
その他	4,040
営業外収益合計	38,431
営業外費用	
支払利息	55,654
その他	7,455
営業外費用合計	63,109
経常損失(△)	△301,783
特別利益	
投資有価証券売却益	48,469
特別利益合計	48,469
特別損失	
たな卸資産評価損	6,380
貸倒引当金繰入額	1,847
保険解約損	21,474
固定資産除売却損	1,795
ゴルフ会員権売却損	2,257
特別損失合計	33,754
税金等調整前四半期純損失(△)	△287,069
法人税、住民税及び事業税	16,029
少数株主利益	2,623
四半期純損失(△)	△305,721

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	当第3四半期連結累計期間 (自 平成21年1月1日 至 平成21年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー	
税金等調整前四半期純損失(△)	△287,069
減価償却費	143,502
固定資産除売却損益(△は益)	2,425
貸倒引当金の増減額(△は減少)	1,847
受取利息及び受取配当金	△11,891
支払利息	55,654
持分法による投資損益(△は益)	△9,919
投資有価証券売却損益(△は益)	△48,469
保険解約損益(△は益)	21,474
売上債権の増減額(△は増加)	601,398
たな卸資産の増減額(△は増加)	39,190
仕入債務の増減額(△は減少)	△357,242
為替差損益(△は益)	610
その他	△12,121
小計	139,389
利息及び配当金の受取額	11,891
利息の支払額	△57,886
法人税等の支払額	△27,169
営業活動によるキャッシュ・フロー	66,225
投資活動によるキャッシュ・フロー	
定期預金の預入による支出	△5,000
定期預金の払戻による収入	5,000
有形固定資産の取得による支出	△82,182
無形固定資産の取得による支出	△3,188
投資有価証券の売却による収入	134,802
貸付けによる支出	△3,700
貸付金の回収による収入	2,770
保険積立金の解約による収入	254,813
その他	6,372
投資活動によるキャッシュ・フロー	309,689
財務活動によるキャッシュ・フロー	
短期借入金の純増減額(△は減少)	△71,100
長期借入金の返済による支出	△124,900
社債の償還による支出	△270,000
その他	△451
財務活動によるキャッシュ・フロー	△466,451
現金及び現金同等物に係る換算差額	△3,721
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△94,259
現金及び現金同等物の期首残高	679,208
現金及び現金同等物の四半期末残高	584,948

当連結会計年度より「四半期財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第12号)及び「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第14号)を適用しております。また、「四半期連結財務諸表規則」に従い四半期連結財務諸表を作成しております。

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) セグメント情報

〔事業の種類別セグメント情報〕

	ロボット事業 (千円)	文具事業 (千円)	計(千円)	消去又は全社 (千円)	連結 (千円)
売上高	1,001,327	3,698,450	4,699,778	—	4,699,778
営業費用	1,170,155	3,806,728	4,976,883	—	4,976,883
営業損失(△)	△168,827	△108,277	△277,105	—	△277,105

〔所在地別セグメント情報〕

	日本 (千円)	北米 (千円)	欧州 (千円)	計(千円)	消去又は全社 (千円)	連結 (千円)
売上高	4,394,325	231,292	74,159	4,699,778	—	4,699,778
営業費用	4,689,469	226,203	61,210	4,976,883	—	4,976,883
営業利益又は営業 損失(△)	△295,144	5,089	12,948	△277,105	—	△277,105

〔海外売上高〕

	アジア	欧州	北米	その他の地域	計
I 海外売上高(千円)	239,477	57,070	243,297	7,614	547,460
II 連結売上高(千円)	—	—	—	—	4,699,778
III 連結売上高に占める海外売上 高の割合(%)	5.1	1.2	5.2	0.2	11.6

(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

「参考資料」

前年同四半期に係る財務諸表等

(1) (要約) 四半期連結損益計算書

前第3四半期連結累計期間(平成20年1月1日～9月30日)

科目	前年同四半期 (平成20年12月期 第3四半期)
	金額(百万円)
I 売上高	6,252
II 売上原価	4,471
売上総利益	1,781
III 販売費及び一般管理費	1,999
営業損失(△)	△218
IV 営業外収益	59
V 営業外費用	94
経常損失(△)	△253
VI 特別利益	290
VII 特別損失	165
税金等調整前四半期純損失(△)	△128
法人税、住民税及び事業税	16
少数株主利益	2
四半期純損失(△)	△147

(2) (要約) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

前第3四半期連結累計期間(平成20年1月1日～9月30日)

	前年同四半期 (平成20年12月期 第3四半期)
区分	金額(百万円)
I 営業活動によるキャッシュ・フロー	
税金等調整前四半期(当期)純利益又は 税金等調整前四半期(当期)純損失	△128
減価償却費	147
固定資産売却・除却損	3
固定資産売却益	△0
貸倒引当金の増減額	△3
役員退職慰労引当金の増減額	168
退職給付引当金の増減額	△191
受取利息及び受取配当金	△18
支払利息	67
持分法による投資損益	△17
為替差損益	△1
投資有価証券売却益	△53
売上債権の増減額	443
棚卸資産の増減額	△30
仕入債権の増減額	△146
その他	34
小計	274
利息及び配当金の受取額	18
利息の支払額	△77
法人税等の支払額	△21
営業活動によるキャッシュ・フロー	193
II 投資活動によるキャッシュ・フロー	
定期預金等の預入による支出	△5
定期預金の払戻しによる収入	5
有形固定資産の取得による支出	△88
有形固定資産の売却による収入	0
無形固定資産の取得による支出	△2
投資有価証券の取得による支出	△2
投資有価証券の売却による収入	177
貸付けによる支出	△1
貸付金の回収による収入	1
その他	△11
投資活動によるキャッシュ・フロー	73

	前年同四半期 (平成20年12月期 第3四半期)
区分	金額 (百万円)
III 財務活動によるキャッシュ・フロー	
短期借入金の純減少額	△1,031
長期借入金の収入	400
社債の償還による支出	△70
その他	△0
財務活動によるキャッシュ・フロー	△702
IV 現金及び現金同等物に係る換算差額	△5
V 現金及び現金同等物の増減額	△441
VI 現金及び現金同等物の期首残高	1,336
VII 現金及び現金同等物の四半期末残高	895

(3) セグメント情報

〔事業の種類別セグメント情報〕

前第3四半期連結累計期間 (平成20年1月1日～9月30日)

	ロボット機器 (百万円)	文具 (百万円)	計 (百万円)	消去又は全社 (百万円)	連結 (百万円)
売上高	1,682	4,570	6,252	—	6,252
営業費用	1,891	4,579	6,470	—	6,470
営業損失 (△)	△209	△8	△218	—	△218